

トレーディングサポート **J-GX**

銘柄名検索 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

小 中 大 特	コード	銘柄	市場	始値	高値	安値
リアル株価サービス	0101	日経平均	指標	38,312.66	38,608.17	38,252.71
マイポートフォリオ	0201	TOPIX	指標	2,713.83	2,747.34	2,710.93
株価リスト	8411	みずほ	東プ	2,995.0	3,039.0	2,984.5
株価ボード	7494	コナカ	東ス	391.0	392.0	390.0
インデックス寄与度	9749	富士ソフト	東プ	6,310.0	6,330.0	6,220.0
個別銘柄	7203	トヨタ自	東プ	3,577.0	3,638.0	3,556.0

リアルチャート
ランキング
リアルチャートプラス

終値サービス
HELLOチャート
トレンドアナライザ
Opticastコメント

新サービス
適時開示情報

外部リンクサービス
エクイティ情報サイト

サポート
設定・保存
ヘルプ
著作権・免責等

会員サイトへ

時事エクイティ

このサイトについて →

東京市場 & NY 市場

ニュース 日本株ポートフォリオ 米国株ポートフォリオ 市況・分析 解説・学習 会員情報

ホーム

市況・概況

- 東京株式 2024/04/30 10:11 上げ幅拡大=再び円安(30日前場中盤)
- 東京外為 2024/04/30 09:16 ドル、156円台前半=介入とみられる売りで下落(30日午前9時)
- 米株式 2024/04/30 05:54 ダウ続伸、146ドル高=ナスダックも高い(29日)
- NY外為 2024/04/30 06:34 円、156円台前半(29日)
- NY石油 2024/04/30 05:04 WTI3日ぶり反落、82.63ドル(29日)
- NY金 2024/04/30 05:04 3日続伸、2357.70ドル(29日)
- ロンドン外為 2024/04/29 20:42 円急伸、155円台後半(29日正午)

主要各国の立会時間と休場日 → 主要各国の金融政策スケジュール →

海外経済ニュース

2024/04/30 10:32
韓国サムスン、営業利益10倍=市況改善、半導体部門が黒字転換

@equity_イート

時事エクイティ @equity_jiji... · 2時間
[米株式]ダウ続伸、146ドル高=ナスダックも高い(29日)|時事エクイティ

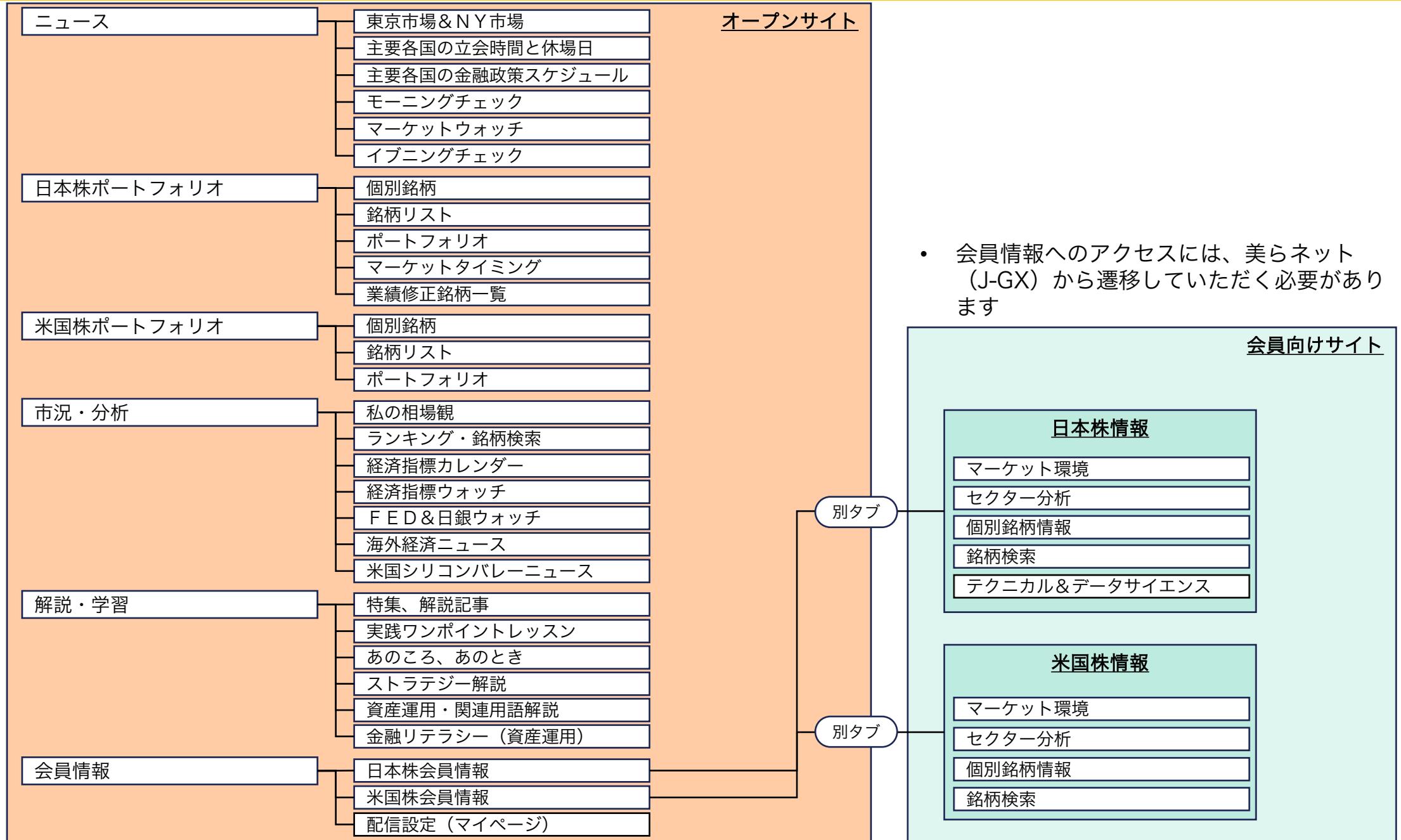
equity.jiji.com (米株式)ダウ続伸、146...

1. 時事通信社ニュースなど豊富なテキスト情報でJ-GXを補完
2. 適時開示情報（決算発表、業績修正）、市況（1日3回）のメール配信サービス
3. トップダウン型アプローチ（経済環境→セクター・業種→個別銘柄）で銘柄選択をサポートする会員様向けサイト
4. 日米それぞれの上記会員様向けサイトをご利用可能で、日米の比較を通して、米国株式市場の情報も日本株式への投資にお役立ていただけます

トップダウン型アプローチとは…

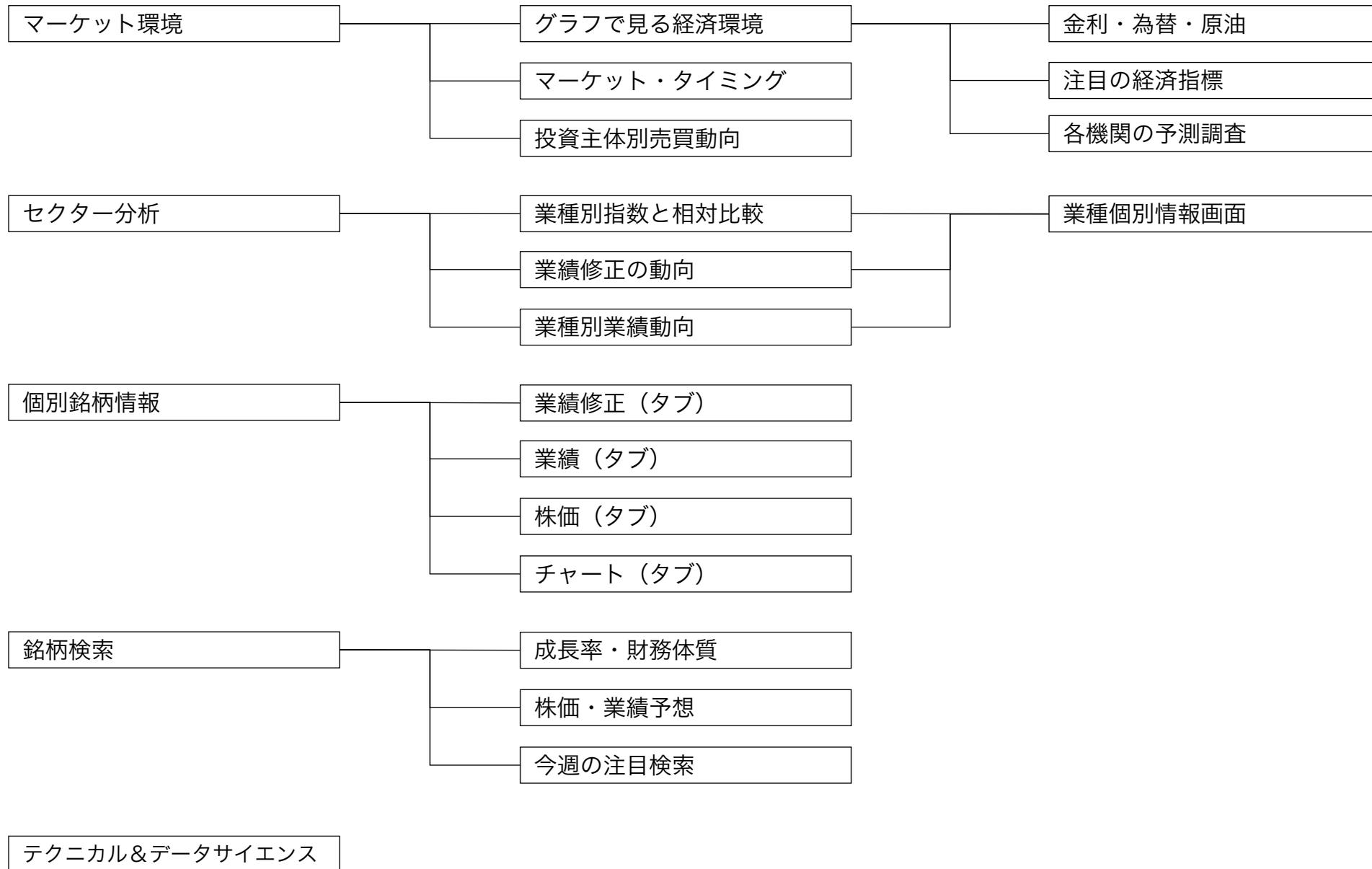
株式運用には、様々なスタイルがありますが、ポートフォリオをトップダウン型で構築するのとボトムアップ型で構築するのは対照的なアプローチです。時事エクイティサービスではトップダウン型の流れでサイトを構築しています。トップダウン型は、マクロ経済分析→セミマクロ（セクター分析）→ミクロ（個別銘柄）の手順で組み入れ銘柄を決めていくワークフローになります。

時事エキティのサイトマップ



1. 日本株式情報（会員向けサイト）

1-1. メニュー構成



1-2. メニューの概要 ① - マーケット環境

1. マーケット環境

メニュー	内容	特徴・目的
経済環境	<ul style="list-style-type: none">• 主な経済指標、株価指数チャート• 注目の経済指標<ul style="list-style-type: none">➔ マーケットに影響が大きいと思われる経済統計を取り上げ• 各機関の予測調査<ul style="list-style-type: none">➔ 公的な機関が公表する調査結果や民間の調査機関によるレポートなど	<ul style="list-style-type: none">• 経済統計の結果からマーケットをとらえる• 様々な統計を幅広くではなく、有益なものを厳選してサービス• メインの数値だけでなく、指数を構成する要素や系列項目の動向も確認
マーケット・タイミング	<ul style="list-style-type: none">• GC社独自の各種指標（マーケット・インディケーター）の状況<ul style="list-style-type: none">➔ 時系列推移、チャート• まとめ、注目ポイントなど現状について一言コメントを掲載	<ul style="list-style-type: none">• テクニカルにマーケットをとらえる• マーケット・インディケーターを用いてトレンドや転換点を把握• 他サービスではほとんど見ない指標やパラメータを使用
投資主体別売買動向	<ul style="list-style-type: none">• 投資主体別売買動向のサマリー• まとめ、注目ポイントなどの一言コメントを掲載	<ul style="list-style-type: none">• 投資主体別売買動向からマーケットをとらえる

1-2. メニューの概要 ② - セクター分析

2. セクター分析

メニュー	内容	特徴・目的
業種別指数と相対比較	<ul style="list-style-type: none">業種別指数の値動きの推移業種別指数とTOPIXの相対比較数表とチャートで	<ul style="list-style-type: none">指数の値動きとTOPIXとの比較から相対的な強弱を計る業種は東証33業種とTOPIX-17業種に対応数表はソート機能付きでランキングやリストとして活用可能
業績修正の動向	<ul style="list-style-type: none">業績修正銘柄数を業種別・月ごとに集計（増額修正、減額修正）	<ul style="list-style-type: none">業績修正銘柄数の動向から業種ごとの強弱を計る任意の複数業種をまとめて集計することが可能（東証の区分によらず、ユーザ自身の自由な集計が可能）
業種別業績動向	<ul style="list-style-type: none">業種別に売上高と営業利益の動向を集計	<ul style="list-style-type: none">各銘柄の業績数値を業種ごとに集計し、各業種ごとのトレンドや相対的な強弱を見る3月期決算銘柄に絞ることで同条件での業種間比較が可能業種内の個別銘柄ランキングとしての利用も可能

1-2. メニューの概要 ③ - 個別銘柄

3. 個別銘柄

メニュー	内容	特徴・目的
業績修正	<ul style="list-style-type: none">• 主な決算・業績数値• 主だった銘柄について、直近業績のコメントを掲載	<ul style="list-style-type: none">• 当期予想については修正ごとの履歴も併せて掲載し、同じ年度内の業績動向を確認
業績	<ul style="list-style-type: none">• 一般的なサマリーの情報• ROEとROEを構成する3要素（売上高経常利益率、総資本回転率、財務レバレッジ）の推移	<ul style="list-style-type: none">• 一般に広く利用されているROEについて、ROEの算出式を分解してより深く財務状況を把握・理解する（ROE数値の要因を探る）
株価	<ul style="list-style-type: none">• 株価と主なテクニカル指標の時系列表とチャート• 主だった銘柄について、株価や指標の動きのコメントを掲載	<ul style="list-style-type: none">• 移動平均乖離率、株価位置など、感覚的にとらえやすいと思われる指標を提供
チャート	<ul style="list-style-type: none">• 日足、週足、月足のチャート	<ul style="list-style-type: none">• 現サイトで提供していない各種指標のチャートを掲載してタイミングを計る

4. 銘柄検索

メニュー	内容	特徴・目的
成長率・財務体質 株価・業績予想	<ul style="list-style-type: none">様々なアプローチによる銘柄検索<ul style="list-style-type: none">➔ 業績や財務数値の伸び率（直近や過去10年間でどのように変化したか）➔ 株価の状況、業績予想	<ul style="list-style-type: none">一つの項目によるランキングではなく、関連するいくつかの項目の数値を並べて表示することで、横（銘柄間）の比較がしやすい
今週の注目検索	<ul style="list-style-type: none">高値更新コア銘柄底値切り上げ型銘柄安値更新銘柄過熱銘柄移動平均高乖離銘柄移動平均高マイナス乖離銘柄上昇トレンド入り候補銘柄	<ul style="list-style-type: none">検索テーマは固定のものと、ポイントで提供するものを用意マーケットの状況に合わせた、タイムリーな検索テーマをピックアップして提供

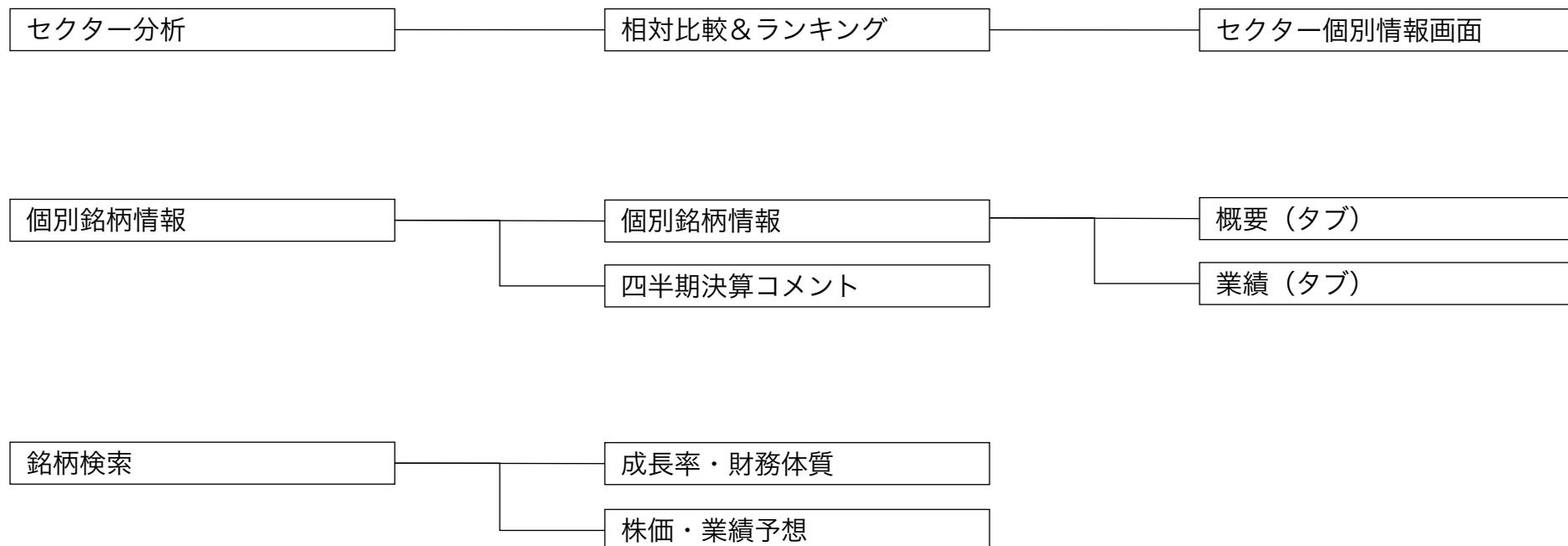
1-2. メニューの概要 ⑤ - テクニカル&データサイエンス

5. テクニカル&データサイエンス

メニュー	内容	特徴・目的
GCVスクリーニング	<ul style="list-style-type: none">GCVが買いゾーンにある銘柄のリストを提供銘柄選びの参考にさせていただく候補銘柄リスト日々更新	<ul style="list-style-type: none">GCVは過去の一定期間において、株価がどれだけの傾き（勢い/スピード）をもって上昇・下落してきたかを示すオシレーター系テクニカル指標で、ゴールデン・チャート社独自の指標
マーケットタイミング	<ul style="list-style-type: none">様々な指標を用いて、日本のマーケットが現在どのような状況にあるのかを把握週次更新	<ul style="list-style-type: none">ゴールデン・チャート社独自のマーケット分析指標を活用して、マーケットの偏りや行き過ぎの状況をとらえる
ペアトレード	<ul style="list-style-type: none">候補ペアのリストを提供週次更新	<ul style="list-style-type: none">ゴールデン・チャート社独自のペアシステムが抽出するペア情報を提供
マーケットタイミング判別分析	<ul style="list-style-type: none">上記のマーケットタイミングの精度向上を目指して研究中の指標	<ul style="list-style-type: none">既存の指標を補完すると思われる変数（指標、データ）を追加して分析
収束度指数	<ul style="list-style-type: none">この指標はマーケットの膠着状態の行き過ぎをとらえるための指標週次更新	<ul style="list-style-type: none">「方向はわからないが上方、下方のどちらかに動くはず」という状況をとらえます

2. 米国株式情報（会員向けサイト）

2-1. メニュー構成



2-2. メニューの概要 ① - セクター分析

1. セクター分析

メニュー	内容	特徴・目的
相対比較&ランキング	<ul style="list-style-type: none">セクター指数の値動きと状況セクター指数間および米国市場インデックスとの相対比較数表とチャートで	<ul style="list-style-type: none">指数の値動きと米国市場インデックスとの比較から相対的な強弱を計るセクター指数、米国市場インデックスはMorningstar社の指数を活用数表はソート機能付きでランキングやリストとして活用可能
セクター間比較チャート	<ul style="list-style-type: none">セクター指数の指数化チャート	<ul style="list-style-type: none">セクター間の値動きの強弱をチャートでわかりやすく把握セクターの選択や期間の設定が可能

2. 個別銘柄情報

メニュー	内容	特徴・目的
概要	<ul style="list-style-type: none">株価情報とチャート企業の概要と基本情報	<ul style="list-style-type: none">当期予想については修正ごとの履歴も併せて掲載し、同じ年度内の業績動向を確認
業績	<ul style="list-style-type: none">一般的なサマリーの情報主だった銘柄について、株価や指標の動きのコメントを掲載セグメント情報	<ul style="list-style-type: none">株価や業績について、テキスト情報で補足セグメント別の業績推移で、より詳細に状況を把握
四半期決算コメント	<ul style="list-style-type: none">各銘柄の決算について、四半期の公表毎に概要と独自のまとめでレポート	<ul style="list-style-type: none">日本株式とは異なる米国株式ならではの特徴を生かしたまとめ

3. 銘柄検索

メニュー	内容	特徴・目的
成長率・財務体質 株価・業績予想	<ul style="list-style-type: none">• 様々なアプローチによる銘柄検索<ul style="list-style-type: none">➔ 業績や財務数値の伸び率（直近や過去10年間でどのように変化したか）➔ 株価の状況、業績予想	<ul style="list-style-type: none">• 一つの項目によるランキングではなく、関連するいくつかの項目の数値を並べて表示することで、横（銘柄間）の比較がしやすい